

そっけん

息軒だより

三計の教え



令和6年4・5月号(第43号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO法人 安井息軒顕彰会
理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘
〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp

<https://yasuisokken.jp>

一日の計は朝あしたにあり

一年の計は春はるにあり

一生の計は少壮しょうそうの時にあり



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます



春は出逢いと別れの季節… ~ ごあいさつ ~ 青山大介学芸員 宮崎大学学び・学生支援機構の特別准教授に

このたび宮崎市安井息軒記念館の学芸員を退職し、宮崎大学学び・学生支援機構の特別准教授に移動いたしましたことをご報告いたします。なお今後も、記念館には特別研究員(仮称)として宮崎大学の兼業制度を利用して週1日ほど出勤する予定です。記念館を退職しますが、息軒研究はこれからも続け、夏には昨年の『弁妄会読』の続きを実施し、「冬の企画展」にも協力します。記念館への関わり方がこれまでに比べて、より研究に特化した形になるとご理解ください。

記念館では1年8か月ほどお世話になりましたが、特に印象深いのは私が解説をしている時の顕彰会や受講生の皆様の表情です。息軒研究については「則ち之を文字に託して、当に知己を天下後世に求むるべし」(安井息軒先生碑銘)という心境だったのですが、皆さんが熱心に聞いてくださるので、前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

記念館では1年8か月ほどお世話になりましたが、特に印象深いのは私が解説をしている時の顕彰会や受講生の皆様の表情です。息軒研究については「則ち之を文字に託して、当に知己を天下後世に求むるべし」(安井息軒先生碑銘)という心境だったのですが、皆さんが熱心に聞いてくださるので、前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



後任として久保田千仁学芸員が着任しました

4月2日付けで当館の学芸員に着任した久保田千仁と申します。現在、鹿児島国際大学大学院修士課程に身を置いております。修士論文を執筆中ではありますが、ご縁を得て、当館で働かせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いたします。

私は日本古典文学と書誌学を専攻していました。具体的には『枕草子』や『源氏物語』の研究、古文書や古筆切の研究もしていました。当館に保存されているくずし字で書かれた資料の解読や翻訳などで、研究成果の提供を行っていきたく存じます。

また、私は宮崎県出身ですが、恥ずかしながら息軒先生について名前を知っているだけで何を成した人物なのかを存じ上げませんでした。安井息軒に関する知識は白紙の状態、歴史や中国思想には知識の乏しい面がございますがこれから勉強してまいります。

至らぬところが多分にあるかと存じますが精いっぱい励んで参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和5年度小学生俳句コンクール並びに 安井息軒顕彰短歌・俳句・川柳コンクール開催

第3回上記コンクールを開催。小学生俳句コンクールは清武町域に限って募集させていただきましたが、成人の部の短歌・俳句・川柳コンクールには県外からも多数の応募があり、県外の皆様も多数入賞されました。審査は短歌：伊藤一彦先生、俳句：田上比呂美先生、川柳：間瀬田紋章先生と本県を代表する先生方へお願いし、それぞれ特選・息軒賞、金賞・滄洲賞、銀賞・佐代賞、そして銅賞・清溪賞を選出させていただきました。ご応募、そしてご審査、誠にありがとうございました。入選作品は上記ホームページに掲載しております。



宮崎市安井息軒記念館は、実は2階建ての2階なのです 本年度より1階の一部が宮崎市教育委員会文化財課市史編さん室に!!

宮崎市は令和6年4月1日をもって、市政施行100周年を迎え、同時に「市政施行100周年記念誌」編さん事業も本格化してきました。その編さん事業の場所として、当記念館1階の空きスペースが指定され、市史編さん室が本庁から記念館に移転してきました。3月下旬には市史編さん室をお迎えするために、1階に置いていたさまざまな史資料や道具等の移転作業を行いました。記念館に御用の方は今までどおり2階東側玄関から、市史編さん室に御用の方は西側ゲートからお入りいただいて、1階の西側玄関の小さなインターホンを押してください。

3月3日(日) 息軒ウォーク開催 天気快晴 🌈

🌸 息軒が生まれ育ったふるさと中野を歩きました 🌸



国指定史跡 安井息軒旧宅



春の自然を楽しみながら…



伊東家僑墓・安井家墓地

応募者多数のため、後半申し込みされた方々はお断りせざるを得ませんでした。誠に失礼しました。当日はファミリー息軒塾の会員も参加し、春の宮崎市清武町中野の息軒の足跡を追いました。

清武小学校の卒業式

 🌈

春は出会いと別れの季節。宮崎市立清武小学校でも3月23日(土)、卒業式が執り行われました。安井滄洲・息軒父子が教鞭をとった飢肥藩清武郷校「明教堂」は明治5年の学制施行により中野小学校へと引き継がれ、中野小は途中で清武小学校と改称。従って清武小学校は最も色濃く明教堂の流れを引き継いでおり、校歌の歌詞にも息軒のことがかなり盛り込まれています。さらに同校の主要行事では必ず息軒の「三計の教え」が朗読ろうしやうされます。今年も朗読に始まる見事な卒業式が挙行され、卒業生は誇りを胸に人生の新しいステージへと巣立っていきました。



春の花で彩られた会場



いよいよ旅立ちのとき



演壇には大谷選手寄贈のグローブが

イヌマキの補植

 🌿

安井息軒記念館の垣根にはイヌマキが植えられています。そのイヌマキの天敵ともいえる害虫が、黒とオレンジ色の「キオビエダシャク」です。この害虫が3年ぐらい前に異常発生し、繰り返し駆除したのですがその猛威に抗(あらが)えず、5分の2近くのイヌマキが立ち枯れていました。この垣根をこの度宮崎市教育委員会が補植してくださいました。補植されたのは同じくイヌマキとそしてマサキです。今度は枯らすことがないように心して駆除に努めたいと思います。このキオビエダシャクは成虫がひらひら舞っているときは駆除が難しく、卵を産み付けて幼虫となり葉を食べている時期が駆除しやすいので、この時期にしっかり駆除したいと思います。



キオビエダシャクの成虫



進む補植作業



きれいに植えられたマサキ

令和5年度企画展「息軒の娘」大好評のうちに終了🍀🌈

1月13日(土)から3月24日(日)まで延べ62日間にわたり開催しました冬の企画展が無事終了しました。宮崎出身のイラストレーター池田和宏様による宇宙服を着た女性のイラストは、厳格と思われる幕末から明治初頭にかけての大儒学者息軒と、良妻賢母の鑑かがみと思われてきたお佐代さんの間に生まれて、さぞやさしく献身的であろうはずの長女須磨子の、近代的で先進的な意外性を表すのにぴったりでした。黒木主税ちから様の見事な息軒の木像は没後も明治以降の日本において光りを放ち続ける息軒を象徴的に表現するのに極めて効果的でした。また湯地貞康様にお貸しいただいた書簡は、長女須磨子の時代を超越した先進的な考えを表現する具体的な史料となりました。

3名の皆様のご協力、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、当館学芸員、青山大介が企画したこの企画展はマスコミや市民の皆様の関心と呼び、期間中2,000名近い皆様(1日平均約30名)がご来館のうえ熱心にご見学をいただきました。期間中、さまざまな団体の皆様や宮崎市長清山知憲様、「安井文庫」のある慶應義塾大学の高橋智名誉教授、九州大学の佐藤敦郎教授等が来館され、熱心に見学されました。また期間中、毎週日曜日の14時半から15時まで、学芸員による展示解説を実施し、こちら企画展に関心を抱いた皆様でおおいに賑わいました。ご支援・ご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。



池田和宏氏によるイラスト



黒木主税氏による木像



湯地貞康氏所蔵の書簡



左から4人目が高橋智名誉教授

🌸 茶室「香梅庵」を利用して今年も「呈茶」を実施 🍵

「香梅庵」を日頃ご利用いただいているグループにご協力をお願いして、梅の花の咲く時期に一般のご来館のお客様にお茶をふるまう「呈茶」を毎年実施しています。今年は2月1日から8日まで、休館日である月曜日を除いて、延べ7日間にわたり実施しました。たくさんのお客様が来館され、梅の花を愛でながら、お茶とお菓子を楽しんで帰られました。料金は無料、令和6年度も実施予定です。ご協力いただいたお茶のグループのみなさま、誠にありがとうございました。

茶室「香梅庵」は、お茶を楽しむ皆様をはじめ、広く市民の皆様を対象に貸し出しをしています。時間は9時30分から16時までで、1時間を単位として貸し出しをします。お申し込みはご利用日の2か月前から受け付けます。空き状況は直接当館にお越しいただくか、お電話でお問い合わせください。



🌸 梅まつい盛大に ✨🌈

息軒が生まれたのは江戸時代も終わりに近い寛政 11 年（1799）1 月 1 日、これは旧暦の話で、新暦では 2 月中旬のちょうど梅の花の咲く頃。息軒も、そしてその父滄洲も無類の梅好きでした。このことに起因して毎年 2 月 11 日、建国記念の日に「安井息軒梅まつり」を開催しています。

今年は久々に脱コロナの終日開催とし、2,000 名近い皆様にご来場いただきました。そしてステージ発表に小学生かるた大会決勝や同体験、四半的体験、息軒クイズラリー、呈茶などのイベントを開催。模擬店としてうどんや焼きそば、綿菓子にフランクフルト、フライドポテト等の食品ブース、その他息軒関連図書販売に人権コーナー、日本農業遺産関連の農産物販売、くじ引きに飲料水販売や総合受付等のブースが設置されて終日おおいににぎわい、最後は清武町域の企業や個人から提供いただいた品々の抽選会を実施して閉幕しました。

ステージには書道吟、青島臼太鼓踊り、雅楽、木花相撲踊り、琴演奏、ダンス、太鼓、日本舞踊、それに清武小学校の児童による合唱等のグループが花を添えてくださいました。呈茶では青木先生のご指導による宮崎第一高等学校茶道部にお世話になりました。さらにボランティアとして顕彰会の役員はもとより、清武・加納両地域まちづくり協議会、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学、宮崎市立清武・加納中学校の生徒、コールオークス、宮崎市役所清武地域絆プロジェクトの皆様など総勢 113 名の皆様にご協力いただきました。ご来場の皆様、ご来賓の皆様含めて紙面をお借りして、心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



🌸 ファミリー息軒塾も無事終了 🌸

記念館のエアコン工事の関係もあり、8 月にスタートしたファミリー息軒塾も 3 月 3 日に実施した「息軒ウォーク」への参加をもって無事に終了。終了後閉講式を実施しました。ご参加いただきましたファミリーの皆様、誠にご苦勞様でした。そしてありがとうございました。本年度は「夏休みこども息軒塾」として開催します。



令和 6 年度第一弾はゴールデンウィーク特別企画

令和 6 年度の講座・イベント情報は、宮崎市安井息軒記念館の HP 上で公開しておりますのでご参照ください。令和 6 年度第 1 弾はゴールデンウィーク特別企画。息軒クイズラリーや息軒パズルに挑戦、息軒 DVD の視聴等を企画しています。挑戦者にはもちろん景品を進呈。是非家族で友達同士で、そして個人でこぞってご来館ください。

